

2025 年度 スポーツメンタルトレーニング (SMT) 指導士全国研修会

2025 年 9 月 26 日 (金)

テーマ『 「曖昧さ」と向き合う、探求する 』ご案内

* セッション 1~2 は、全体共通のセッションです。

* 以降のプログラムは、原則<資格取得者>はセッション 3、<資格未取得者>はセッション 4に参加してください。

・ 9:45 - 10:20 受付 (2 階 TC3-215 前)

<午前>

・ 10:20 - 10:30 委員長挨拶 2 階 TC3-215

・ 10:30 - 11:30 2 階 TC3-215

セッション 1 講演 : 「スポーツメンタルトレーニングを倫理的に考える一正答はなくとも決断するために」

司会 : 江田香織先生 (東洋大学)

講師 : 吉原 啓先生 (麗澤大学)

SMT に携わっていると、自分の授業を受講した学生が SMT を希望する (逆も然り) 等の多重関係が生じることがあります。「SMT 指導士とアスリート」の関係とは別に、「教員と学生」といった別の関係性が二重に存在することは、倫理的観点からは回避する必要のある事象です。しかし、スポーツ心理学領域では、精神障害や心身症等を必ずしも扱うわけではなく、時に競技力向上に重点が置かれる特性からか、複数の関係性の境界線が曖昧なまま存在している、あるいはそこに問題意識を抱くことがないといった状況も少なくないように思います。

同じように、大学の学生相談を担当しているカウンセラーは教員であることも多く、SMT の現場と似たような多重関係を孕むことがあります。そこで、本講演では、大学の学生相談に携わっておられる吉原啓先生にご登壇いただき、倫理的な観点やアカデミックな知見、ご自身の経験等を含めお話しいたいただき、多重関係とは何か、多重関係がどのような結果を生じさせる可能性があるか等を探求する場にしたいと考えます。

<午後>

・ 12:30 - 14:00 2階 TC3-214

セッション2 レクチャー&ワークショップ： 「 多重関係をめぐる哲学対話 」

司会・話題提供者：中山亜未先生（大阪体育大学）、江田香織先生（東洋大学）

コメンテーター：吉原 啓先生（麗澤大学）

セッション1の講演内容を踏まえながら、SMTの現場で生じる可能性のある多重関係の例を提示し、グループ討論を通して体験的に学びを深めることを目指します。また、セッション1に引き続き、吉原啓先生からコメントをいただきます。本セッションでは、「正解」「不正解」を探ることが目的ではなく、参加者一人ひとりの経験や考えを共有するプロセスを大事にしながら進めたいと思います。

・ 14:10 - 16:40 2階 TC3-210 ※上限 150 名

セッション3 事例検討（資格取得者限定）： 『メンタルを強くしたい』と来談した女子アスリートの事例」

司会：平木貴子先生（日本大学）

発表者：片上絵梨子先生（共立女子大学）

指定討論者：林 公輔先生（慶應義塾大学）

指定討論者：村山孝之先生（金沢大学）

・ 14:10 - 16:25（原則、資格未取得者を対象；休憩時間を含む） 2階 TC3-214

セッション4 ワorkshop： 「チームについて考える一関わる際のポイント、検討方法について」

司会・話題提供者：福井邦宗先生（日本福祉大学）

近年のSMT全国研修会では、「個別」事例に関する事例報告のあり方やスーパーヴァイズの重要性を取り上げてきました。しかし、SMTにおいては、「チーム（集団）」を対象としたサポートも少なくありません。にも関わらず、「チーム（集団）」へのサポートや現場への帯同をどのように事例としてまとめるのか、「個別」事例とは異なるスポーツ心理学独自の観点は何か等、議論や知見の蓄積が十分とは言えない状況だと思っています。

そこで、本ワークショップでは、福井邦宗先生から、はじめに「チーム（集団）」への実践例をご提示いただきます。その上で、専門家の役割や活動する上で重要と考える点もご紹介いただきます。さらに、「チーム（集団）」の事例のまとめ方や記載する必要がある事項等について、架空事例に基づきながらディスカッションを行う予定です。